



# S 氏の冒険日記

## 4

---

「じっくり読めばどっかで  
ハマる」ホカ弁感覚のお手  
軽コメディシステムです。

---

香亭 咲

---

## 第7話 「闇を裂く危険球」の巻き

---

ある夜、行きつけのスナックでS谷さんと飲んでいたところ、十時過ぎにS氏が合流してきまして、カウンターが空いていたので、私の横へ座ってきました。他のメンバーとパチンコをした後らしく、結構ごきげんです。

「どうだったんだよ？」と聞くと

「他の人っちは負けちゃったんだけど、僕だけ連チャンしちゃってさ・・・へへ。」

「またそういうパターンかよ！どうしてその運を仕事で使わないかな～・・・」

そういうバランスの取り方良くね～ぞ・・・お前・・・」

「また～すぐそういう事言うんだから。・・・」

ちゃんとひどい目にもあってるし。さっきも・・・」

「どんなひどい目に合ったっていうんだよ。？」

「いや・・・それがさ・・・ひどいんだよ。・・・皆んな。」

パチンコした後、皆んなでラーメン食おうって事になってさ。

食べてる時からHさんとか、

「勝ったのはS島さんだけだから、S島さんのおごりね・・・」

とか言ってるさ。・・・

僕もこの前大負けしてるからちょっと取り戻ただけだよって言ったんだけどさ。

トイレから戻ったら、お勘定はあの人が払うからとか言って、皆んな帰っちゃってさ。

誰もいないんだもん。・・・」

「良かったじゃん。」

「そんな。・・・ひどいと思わない？」

一緒に居る時におごって〔ごちそうさま〕とか言われるならまだしも、

トイレから戻ったらまぬけの空ってさ・・・あんまりじゃん。」

「はあ？まぬけじゃね～よ！も・だつ～の！まじゃなくてもだよ！！もぬけのから！！」

と言ったとたん、カウンターを挟んで話を聞いていたはずのママと女の子の姿が見えなくなってしまう、あれ？今までそこに居たはずと覗き込むと、

2人ともつぼにはまってしまったらしく、お腹を押さえて、時代劇で定番の

「うっ・・・持病のしゃくが・・・」状態でしゃがみこんでおります。

「あ～あ。・・・やっちゃったものS島先生。どうして他の人の腹筋鍛えたがるかな～。

スポーツジムのインストラクターかよ。お前は・・・」

「そんな・・・ちょっと一文字間違えただけじゃん・・・おんなじ（ま）行だし・・・」

「いい～んや！お前のキャラで、それやられたらしゃれになんね～もの・・・

誰もよけられね～よ！ほとんど一発退場の危険球だっつ～の！」

と言っていると、しゃがんだままのママさん達の背中が、プルプルと震え出しました。

あれ・・・とどめ刺してる？俺？

とか思いましたが、面白いのでもっと腹筋を鍛えてあげる事に・・・

「お前さ～・・・もしかして寝返り打つたんびに目が覚めるタイプじゃない？」

「え？なんでですか？」

「いや・・・脳みそがランランいっちゃてうるさくて目が覚めんのかな～とか」

「ひっひっひ・・・ひどいよそんな！そんな硬いわけないじゃん。」

「硬さの問題じゃね～ってばよ・・・量が少ないつつう話だっつ～の！・・・お前な・・・

ばかにしてる相手をコケさせてどうしよってってんだよ！・・・底なし沼か！

何だかな～・・・ほんとにまぬけのからっぽじゃん・・・それじゃ」

ママさんたちは既に限界らしく、息を吸わないと死んでしまうともいうように

ひ～っひ～っとか普段聞けない音域で苦しんでおります。

「お前な・・・気軽にぼけてっけど、つぼにハマった方だって結構しんどいんだぞ・・・

1回じゃ済まない時だってあんだから・・・

夜中に腹筋の方から・・・あれ？何で痛かったんだっけ？という信号が流れてな・・・

本当は笑いたくないのに思い出し笑いをしてしまうという・・・」

と説明していると、S谷さんから

「・・・先生・・・それはもしかして？・・・」

という突然劇場みたいな設定のフリが入ってしまい・・・

「ふむ・・・その現象を我々専門家の間では、腹筋のキックバック現象と呼んでおる・・・」

と、昔の怪獣映画で、怪獣が出てきた時に、突然出てきて解説する

謎の博士みたいなノリで、返したところ、たまらなくなったママが突然立ち上がり

「ちょっとあんた達！ひっ、人の腹筋であそばなひっ！」

とか言いながらまた沈み込んでしまいました。

「・・・先生・・・これはもしかして??」

というフリがまたしてもS谷さんから入ってしまい・・・

「・・・ふむ・・・笑いから腹筋の痛みで苦しみに変わりつつあるな・・・

この状態を我々専門家の間では、腹筋と呼吸器の相互関係における限界点・・・

デンジャラス・ボディブロー・プレスと呼んでおる。・・・」

「・・・なんかプロレス技みたいですけど・・・」

「はっはっは！そう・・・痛さが丁度似ているという事で、

学会で命名されたんだな。はっはっは！」

やれやれ・・・仕事の時はひどい目にあうS氏のぼけですが、

飲んでる時にはいじるのに丁度良いつまみとなってくれるようで・・・

ウエスト周りを気にする女性陣の腹筋を無料で鍛えながら、

常連さんだけの適度にひまなお店の夜はふけていきます。

これだけつまみにされても、本人はにこにこしてるので、

いじられるのが実は快感だったりして・・・

とか思いつつ次回につづくのでありました。

